

生態系モニタリング専門委員会の活動

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

活動報告

- 第43回協議会(平成28年7月26日)以降、会議を1回開催しました。
- 第36回(10月28日)の会議では、「今年度のモニタリングの結果(中間)」の確認を行いました。

会議

上尾市コミュニティセンター

第36回 平成28年10月28日 9:30~11:30



平成28年度のモニタリング結果【中間】（概要）

1. モニタリング調査の枠組み

- 生態系モニタリング専門委員会では、2つの枠組みでモニタリング調査を考えて行くことが合意されました。
- 太郎右衛門地区全体の調査 → 地区全体の環境を良好な状態で管理していくために必要な情報の収集
- 自然再生事業の実施計画に関わる調査(整備の効果を見る調査) → 目標種の生態に応じた情報の収集

●太郎右衛門地区全体の調査

(1段階)網羅的な調査

- 地区全体でどこにどのような生物が生息・生育するかという情報は定期的に更新が必要であるため、これを実施します。



(2段階)①貴重な種および良好な環境に対する調査

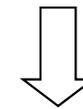
- 保全管理が必要となる貴重な種や良好な環境の実態を把握します。

(2段階)②外来種などの問題生物に対する調査

- 抑制管理が必要となる外来種などの問題生物の実態を把握します。

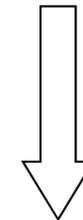
●自然再生事業の実施計画に関わる調査

(1段階)目標種の出現の有無を確認する調査



(2段階)目標種の生息・生育実態を確認する調査

- 繁殖や採餌など、整備地の利用実態を把握します。



(3段階)目標種の定着状況を確認する調査

- 整備地での定着状況を把握します。

参考：目標種

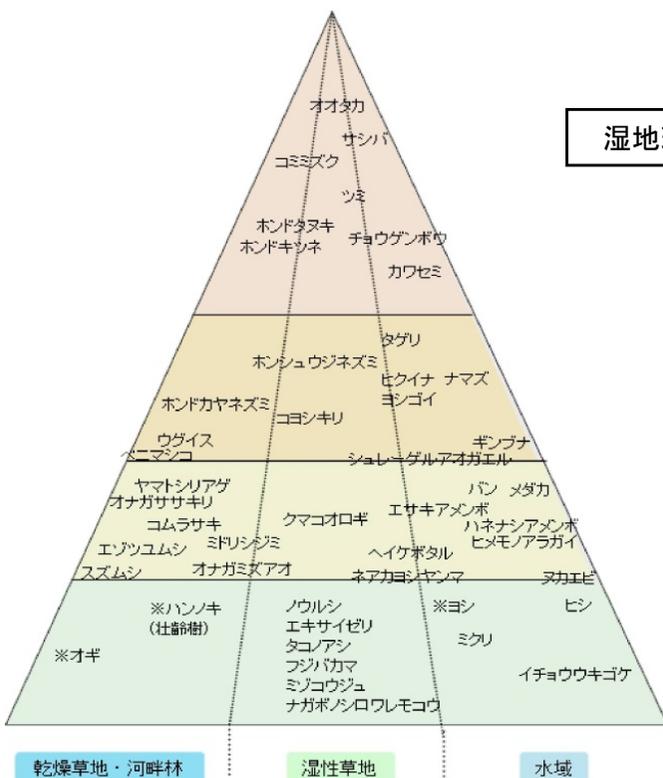
●再生によって期待する生態系(全体構想書より)

- ・太郎右衛門自然再生地では、現状よりも豊かな湿地環境があったとされている。特に現在乾燥化著しい上池でも、かつては湧水によって開放水面が形成されていたとされる。
- ・過去に確認された近年確認記録のないタマシギ、クイナ、サクラソウなどが普通に見られる様な湿地環境の再生が望まれる。

(注) 平成28年7月26日の第43回協議会で、①総合的な目標としてコウノトリを入れたい、②サクラソウは「サクラソウ群落」としたい、との意見がありました。後ほどご検討下さい。

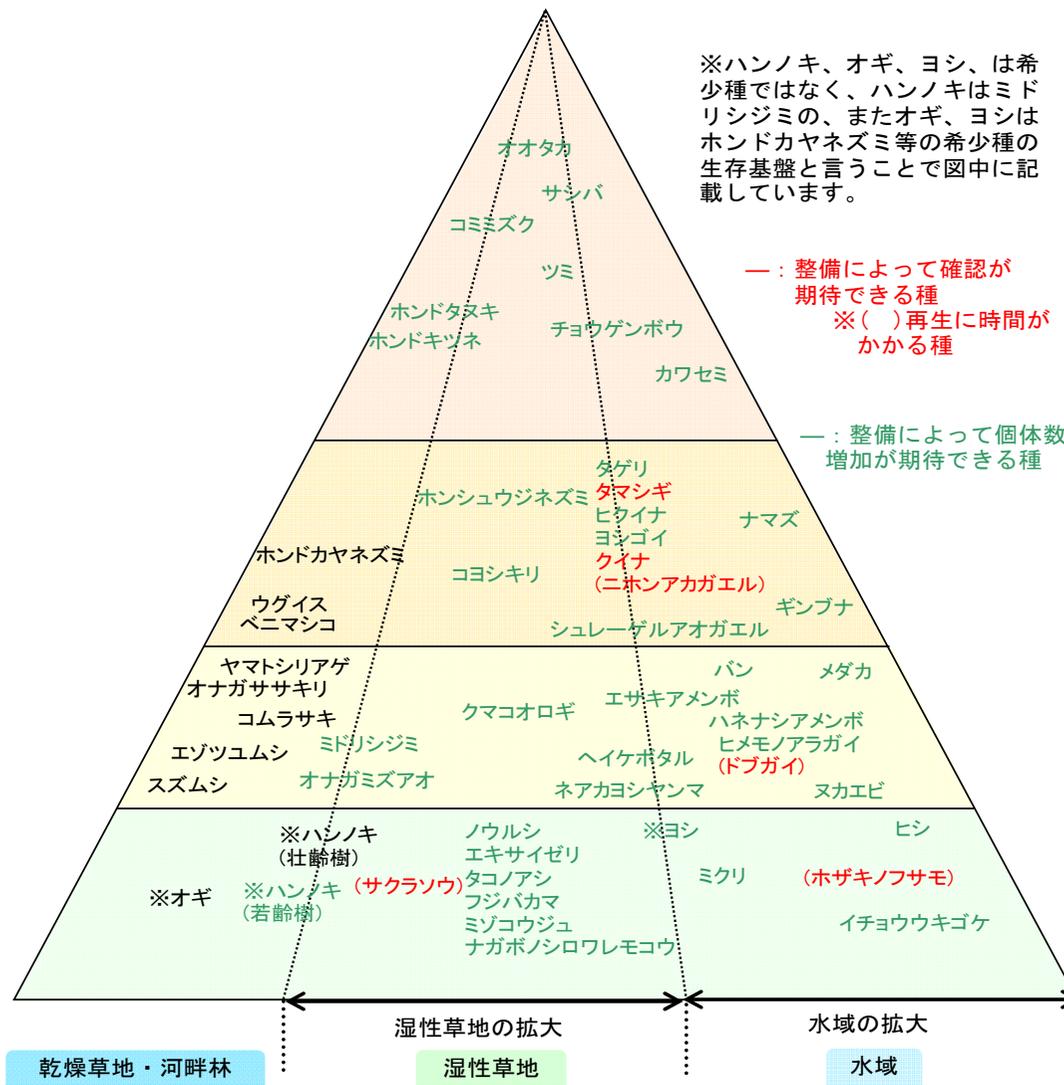
記載種: 確認された希少種の内、代表種のみ

現状の生態系



湿地環境の整備

整備後に期待される生態系



2. H28モニタリング計画

 : 報告部分

1) モニタリング調査の一覧とスケジュール

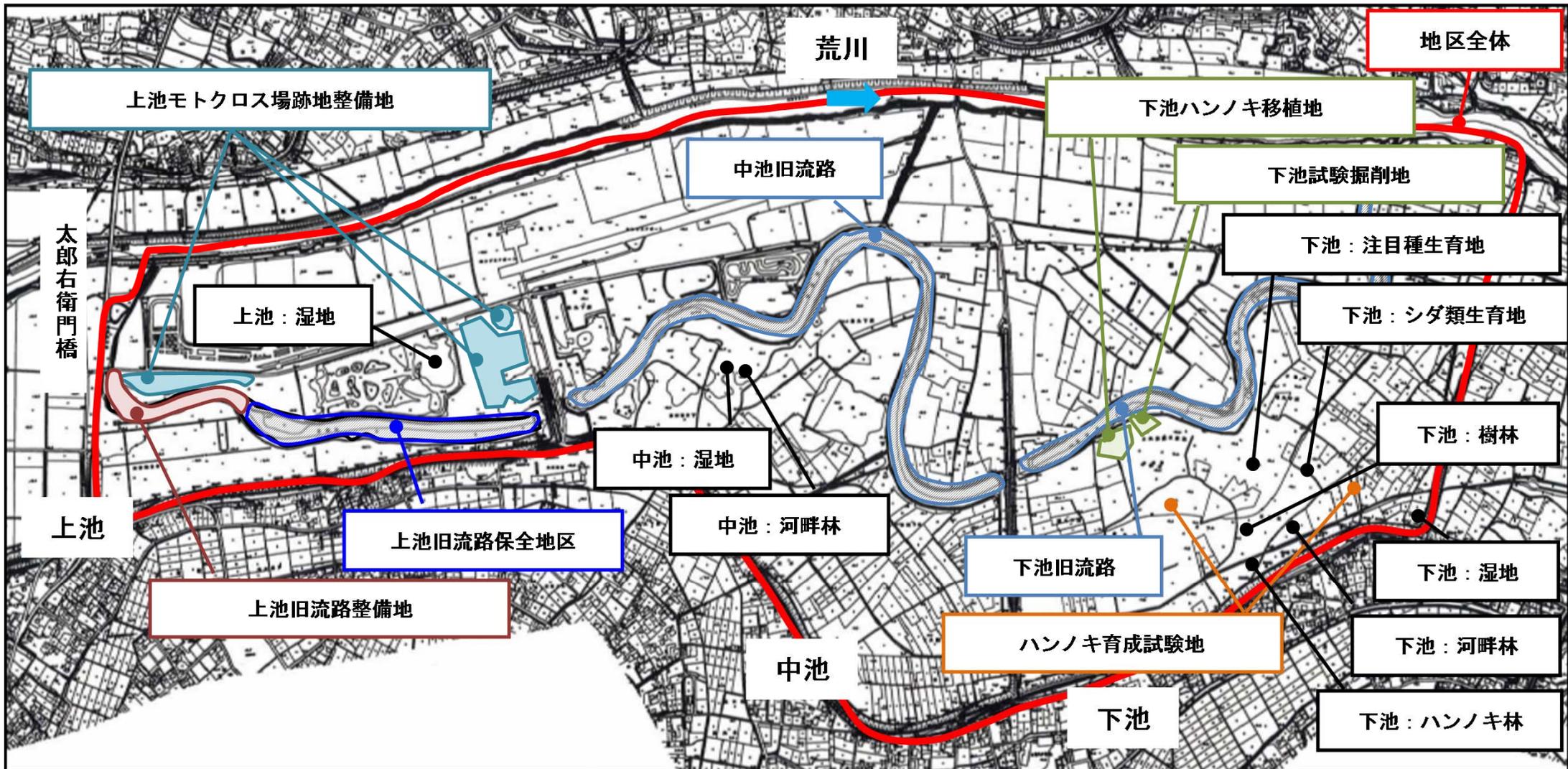
区分	場所	テーマ	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考	
太郎右衛門地区全体の調査	旧流路・全域	水位・地下水位													・連続観測	
	旧流路	水質	●		●		●		●		●		●		・6回調査	
	全域	特定の場所	写真	●			●			●			●		・四季に各1回	
			植生図							●						・夏～秋季：群落成立期
		植生図								●						・夏～秋季：群落成立期
	両生類・爬虫類・哺乳類			●								●		・6月・2月：両生類の産卵確認適期かつその他動物の確認可能期		
自然再生事業の実施計画に関わる調査	上池旧流路保全範囲	植物(植物相)		●			●								・5月：エキサイゼリの確認適期 ・8月：オナモミの確認適期	
	上池旧流路整備地	写真	●	●	●	●	●	●	●	●	●				・4-11月に毎月	
		植物	植物相		●			●								・5月：エキサイゼリの確認適期 ・8月：一般的な水生・湿生植物の確認適期
			植生図								●					・夏～秋季：群落成立期
		鳥類			●											・6月：繁殖期
		魚類			●											・6月：コイ科魚種の産卵期
	両生類												●		・2月：ニホンアカガエルの産卵期	
	上池モトクロス場跡地整備地	写真	●	●	●	●	●	●	●	●	●				・4-11月に毎月	
		植物	植物相		●			●								・5月：エキサイゼリの確認適期 ・8月：一般的な水生・湿生植物の確認適期
			植生図								●					・夏～秋季：群落成立期
鳥類				●											・6月：繁殖期	
ハンノキ育成試験地 下池ハンノキ移植地	両生類												●		・2月：ニホンアカガエルの産卵期	
	写真	●	●	●	●	●	●	●	●	●					・4-11月に毎月(下池ハンノキ移植地のみ)	
	ミドリシジミ			○											・6月：ミドリシジミの確認適期	
下池試験掘削地	ハンノキ(高さ・幹径・生育状態) (試験地は群落高のみ)									○					・10-11月：生育末期	
	写真	●	●	●	●	●	●	●	●	●					・4-11月に毎月	
	植物	植生図							●						・夏～秋季：群落成立期	

● 荒川上流河川事務所調査, ○ 協議会委員との合同調査

2. H28モニタリング計画

2) モニタリング調査の地点

<調査地点>



2. H28モニタリング計画

3) モニタリング調査の実施日

【調査日】

調査対象		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
植物	植物相		11-13日			8-10日							
	植生図						7-9日 29-30日						
鳥類				13-15日									
両生類・爬虫類・哺乳類 調査	両生類・爬虫類・哺乳類			13-15日								予定	
	自動撮影			13-15日								予定	
	アカガエル類											予定	
魚類				1-2日									
ミドリシジミ				27日									
ハンノキ (高さ・幹径・生育状態) (試験地は群落高のみ)									9日、14-15日				

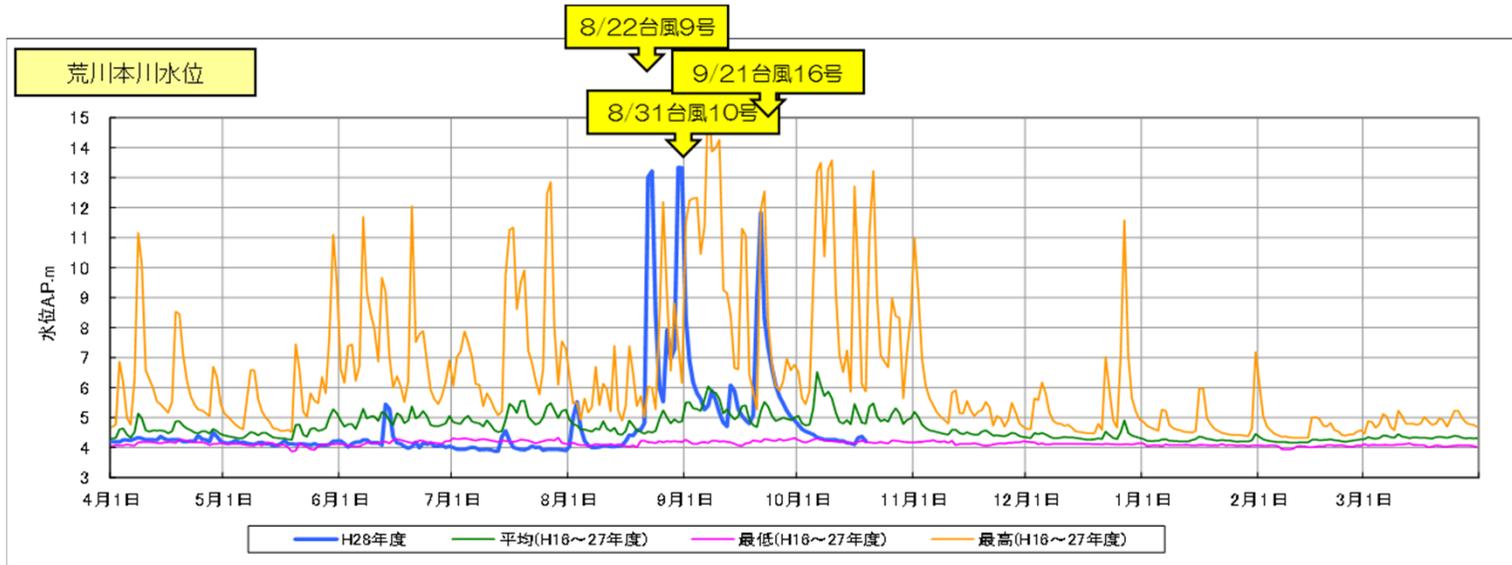
調査方法は参考資料1 P6-7参照

3. モニタリング結果の概要

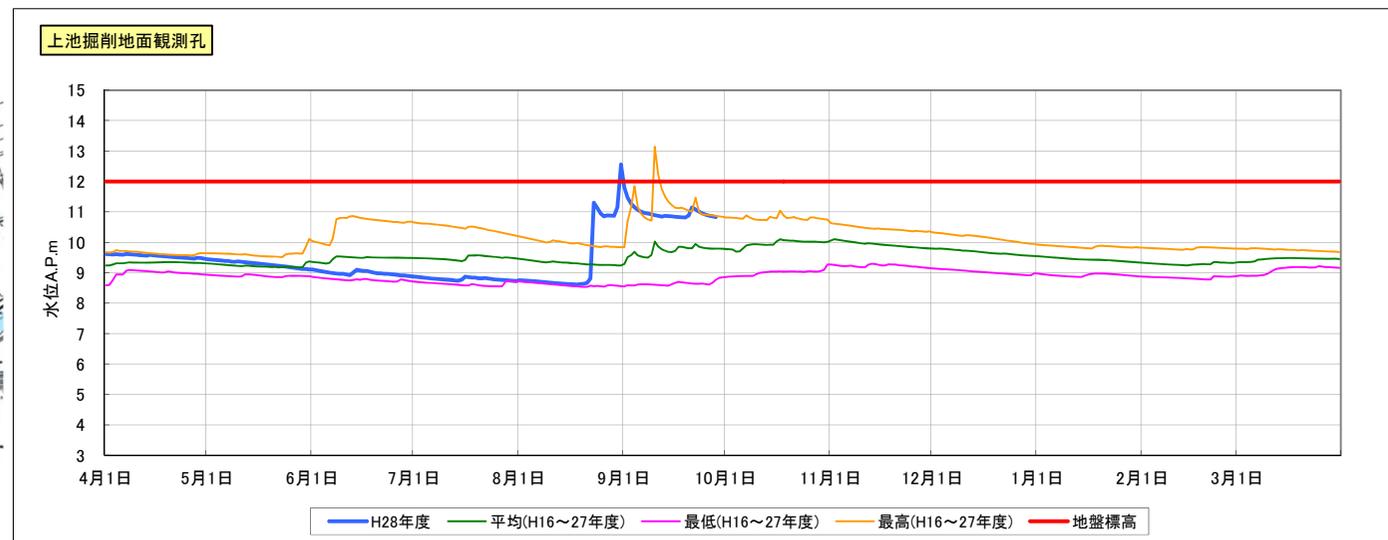
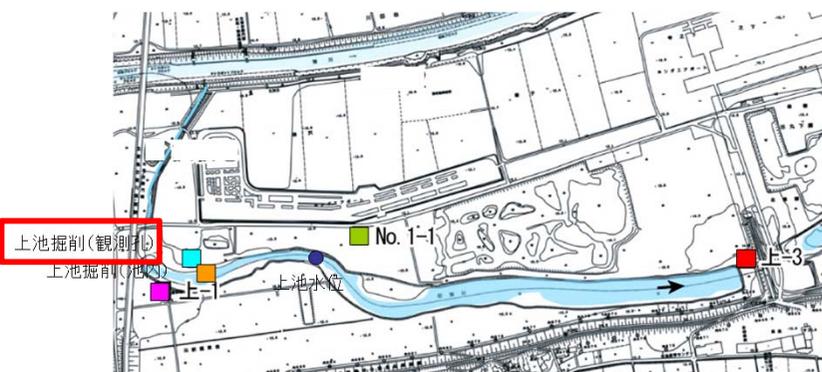
太郎右衛門地区全体の調査

水位・地下水位

区分	場所	テーマ	結果概要
太郎右衛門地区全体の調査	旧流路・全域	水位・地下水位	<ul style="list-style-type: none"> 荒川本川水位は、8月、9月は降雨より、最大値から平均値付近を示しました。その他の期間は最低値付近を示していました。 水位・地下水位は、4月以降は平均値から最低値付近を示し、8月以降は降雨により上昇し、最高値付近を推移しています。



・グラフ中の平均、最低、最高は、H16~27年度の12ヶ年の1日ごとに求めたものです。
 ・「1日」ごとのデータは、荒川本川はその日の時間最高水位、地下水位は日平均水位です。



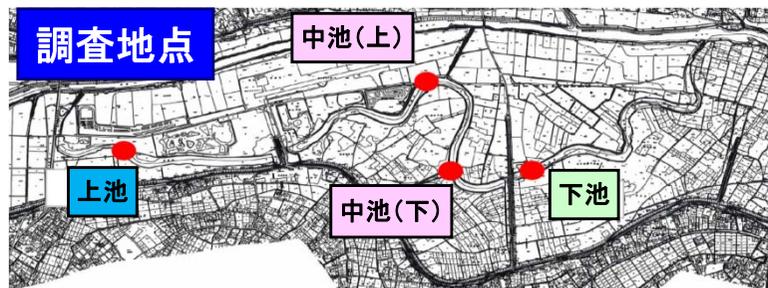
3. モニタリング結果の概要

参考資料1 P27-29参照

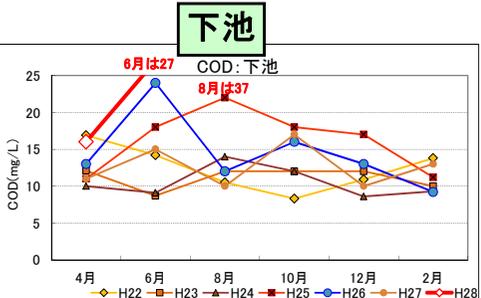
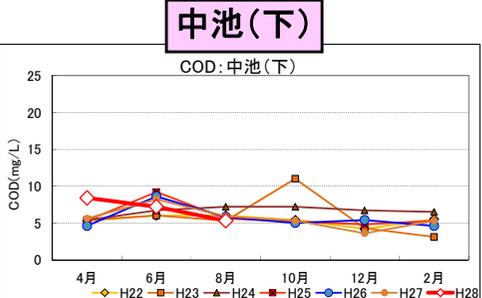
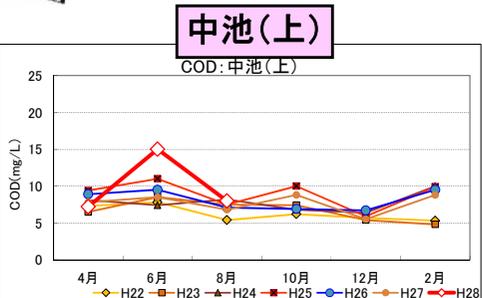
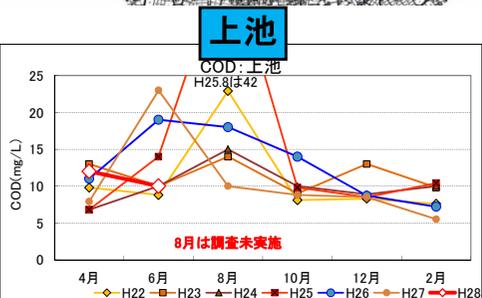
太郎右衛門地区全体の調査

水質

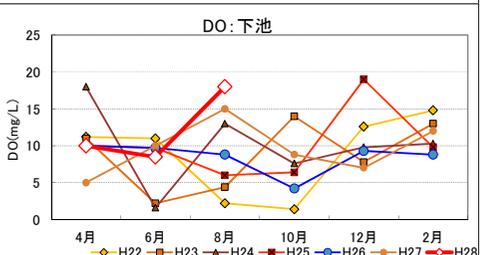
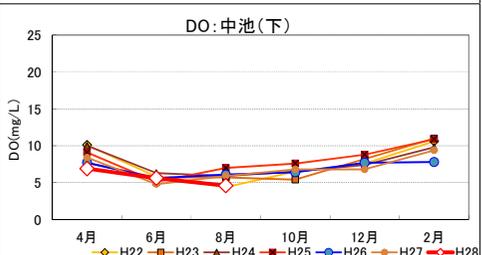
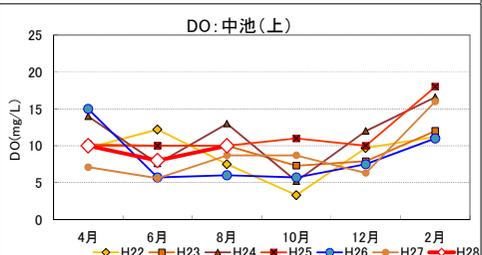
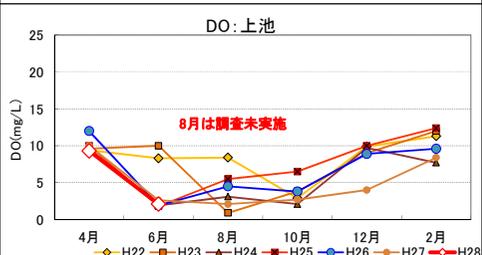
区分	場所	テーマ	結果概要
太郎右衛門地区全体の調査	旧流路	水質	<ul style="list-style-type: none"> 過年度と同様の濃度と経月変化傾向を示していました。 富栄養の状態で、下池の8月はやや例年より高い値ですが、もともと生息・生育している動植物に大きな問題を生じる状況は確認されていません。



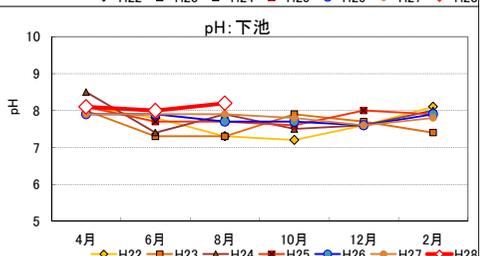
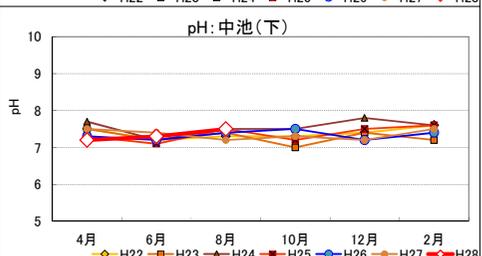
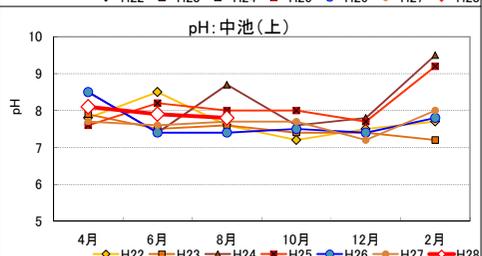
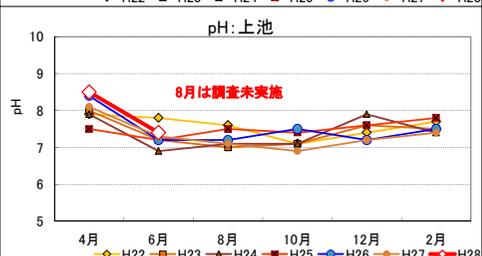
CODの経時変化



DOの経時変化



pHの経時変化



上池の8月は水が無く調査はありません。

3. モニタリング結果の概要

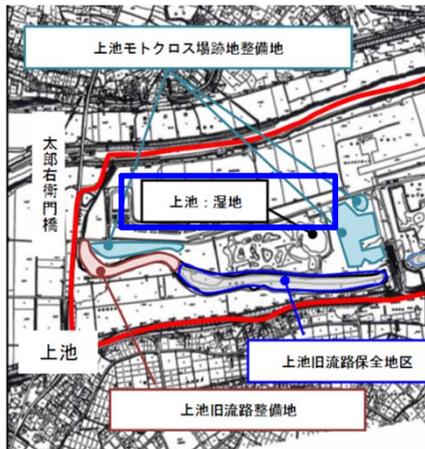
太郎右衛門地区全体の調査

特定の場所

区分	場所	テーマ	結果概要
太郎右衛門地区全体の調査	全域	特定の場所：写真・植生図	<ul style="list-style-type: none"> 良好な場所については、ほとんどの地点で特徴的な要素は維持されていました。 休耕地（民地）である下池の「湿地」では乾燥化が進んでいることが確認されました。

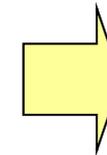
上池・湿地

10月25日



H26.10の植生

H28.9の植生



非公開

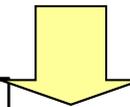
下池・湿地

10月25日



H26.10の植生

H28.9の植生



※ここは「民地」であるため、堤防上やあぜ道から確認できる範囲の情報を記録しました。

3. モニタリング結果の概要

自然再生事業の実施計画に関わる調査

上池旧流路(保全範囲)

区分	場所	テーマ	結果概要
自然再生事業の実施計画に関わる調査	上池旧流路(保全範囲)	植物(植物相)	非公開

H25.8の結果



*ここは「整備地」
(別途調査)

非公開

H26・27夏季(~秋季)は湛水のため調査は実施できませんでした。

H28.8の結果

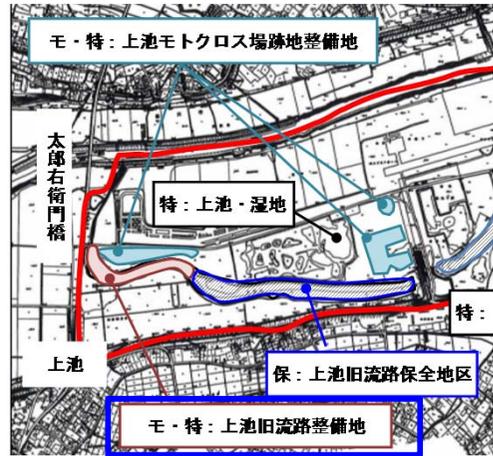


3. モニタリング結果の概要

自然再生事業の実施計画に関わる調査

上池旧流路整備地

区分	場所	テーマ	結果概要
自然再生事業の実施計画に関わる調査	上池旧流路整備地	植物 (植物相・植生図)	非公開



H28.8の結果

非公開

H28.9の結果

10月25日



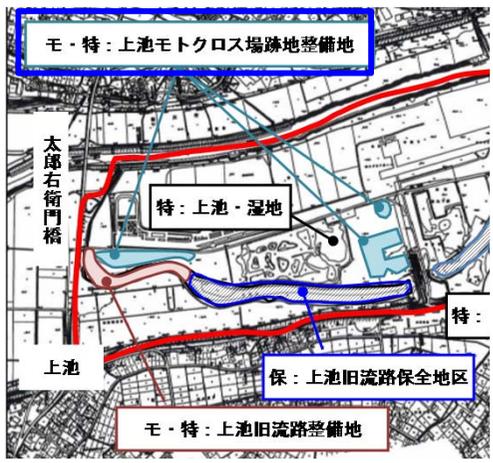
3. モニタリング結果の概要

参考資料1 P53-58、60-66参照

自然再生事業の実実施計画に関わる調査

上池モトクロス場跡地整備地

区分	場所	テーマ	結果概要
自然再生事業の実実施計画に関わる調査	上池モトクロス場跡地整備地	植物(植物相・植生)	非公開



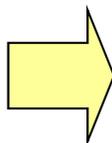
跡地A・H23整備

非公開

H28.8の結果

H26.10の結果

H28.9の結果



3. モニタリング結果の概要

自然再生事業の実施計画に関わる調査

上池モトクロス場跡地整備地

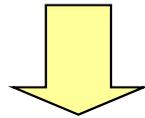
跡地A・H25整備

H28.8の結果

非公開

H26.10の結果

H28.9の結果



3. モニタリング結果の概要

跡地D・H23整備

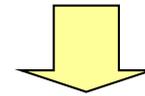
H26.10の結果

※ここは外来種除去の
管理を試行しています。

H28.8の結果

非公開

H28.9の結果



3. モニタリング結果の概要

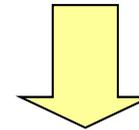
跡地D・H25-27整備

H28.8の結果

H27.10の結果

非公開

H28.9の結果



3. モニタリング結果の概要

参考資料1 P93-94参照

自然再生事業の実施計画に関わる調査

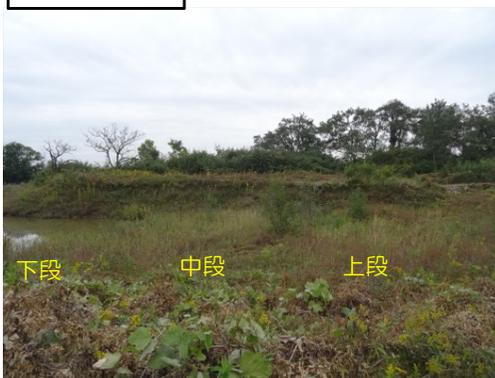
下池試験掘削地

区分	場所	テーマ	結果概要
自然再生事業の実施計画に関わる調査	下池試験掘削地	植生図	非公開

H27.10の結果

H28.9の結果

10月25日



非公開

○太郎右衛門地区での委員による情報提供

●荒木委員より、10月に太郎右衛門地区で確認した鳥類に関する情報提供がありましたのでご紹介します。

確認種
ハヤブサ



(※) このような生物の確認情報について、委員の皆様や周囲の方々がお持ちのものについて、随時のご提供をお願いします。